第30回全国豊かな海づくり大会
初の河川・長良川で開催

式典の様子

「第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会」（主催＝豊かな海づくり大会推進委員会、後援＝農林水産省・環境省）が6月12～13日、天皇皇后両陛下をお迎えし、岐阜県の岐阜市と関市で開催された。

今大会は「清流がつなぐ未来の海づくり」をテーマに、初の河川を舞台に開催。森・川・海のつながり、水と人のつながりをメッセージに乗せ、水と地球環境を守ることをアピールした。

12日に岐阜市の岐阜グランドホテルでレセプションが行われ、13日には関市文化会館で式典が行われた。両陛下御臨席の下、功績団体と作文、写真、習字コンクール受賞者への表彰や、最優秀作文の発表、サテライト会場からの中継による水環境保全活動の紹介が行われた。

その後、長良川河畔にて両陛下による御放流が行われた。

22年度
第2回海洋・沿岸域における水産環境整備の技術検討会開催

第2回水産環境整備技術検討会

水産庁主催による「平成22年度第2回海洋・沿岸域における水産環境整備の技術検討会」が、6月25日（金）午後2時30分より農林水産省8階中央会議室において開催された。

今回の検討会は、去る5月26日に開催された第1回の検討会での委員からの意見等を整理するとともに、基本的な質問等を踏まえて、考え方や内容を修正したものについて委員の方々から意見をいただくということで開催されたものである。

検討会は、⑴生活史を踏まえた広域的な整備検討事例、⑵水産環境整備の具体的な技術課題、⑶水産環境整備の推進に向けて、⑷その他4議題で行われ、水産庁漁港漁場整備部計画課石井総括課長補佐の司会・開会にて始まった。

開会後は、座長である東京大学副学長の磯部教授の進行により検討会が進められ、議題に沿った資料に基づきそれぞれの担当者から説明が行われ、各委員より活発な意見が多数出され、盛況のうちに午後5時に閉会となった。

（資料及び説明担当者＝敬称略）

⑴生活史を踏まえた広域的な整備検討事例

①ハタハタ・フシジモクの生活史を踏まえた漁港漁場整備：北海道水産振興課長　鉢呂昌弘

②生活史を踏まえた広域的な整備検討事例（静岡県遠州灘、熊本県天草）＝水産庁計画課計画官　米山正樹

③播磨灘地区水産環境整備構想（案）＝水産庁計画課計画官　米山正樹

⑵水産環境整備の具体的な技術課題

①水産環境整備の具体的な技術課題＝水産庁整備課課長補佐　森健二

②カキ殻など二枚貝の貝殻を利用した総合的な底質改良技術の開発＝岡山県水産課長　田中丈裕

⑶水産環境整備の推進に向けて

①水産環境整備の推進に向けて（素案）＝水産庁計画課計画官　米山正樹

②水産環境整備の基本的な推進方向＝福井県立大学教授　瀬戸雅文

水産庁漁港漁場整備部
22年度 漁港漁場管理者研修会（前期）を開催

水産庁漁港漁場整備部は、6月29日午後1時から30日正午までの日程で、22年度漁港漁場管理者研修会（前期）を開催し、都道府県、市町村の担当職員ら二百名余が参加した。

はじめに、宇賀神義宣漁港漁場整備部計画課長が開会の挨拶を行い、漁港漁場の管理の状況と問題点の説明とともに、併せてプレジャーボートの今後の取扱いについての対策の方向性について述べた。

続いて、橋本牧漁港漁場整備部長が「『漁港』のお話」として、漁港の歴史や平均的な漁港の姿、漁港の種類や機能、漁港に関してこれから力を入れるべきこと等の講義を行った。

その後、漁港漁場の管理等について、水産庁漁港漁場整備部計画課、整備課の各担当官から、資料及びパワーポイントにより、管理関係、分権一括法制定に係る漁港指定について、利用関係、会計検査の視点と検証、漁港における衛生管理、環境・生態系保全対策、ストックマネジメント事業における機能保全計画及び日常管理計画、漁港の放置艇対策、漁港施設における利用状況の総点検、利用計画等の取扱いなどについての説明が行われた。

漁港漁場管理者研修会の様子

また、漁港管理の心得として、和歌山県港湾空港振興課主査辻誠造氏より「漁港管理のすすめ」、和歌山県、青森県漁港漁場整備課主幹山下清則氏より「漁港の管理に思うこと」と題し、県の立場から実践を踏まえた講演が行われた。

各県総会

青森県漁港漁場協会

㈳青森県漁港漁場協会（会長・越善靖夫東通村村長）は、6月18日午後一時三十分から青森市の「青森県水産ビル」において、第三十五回通常総会を開催した。

越善会長の挨拶の後、水産庁漁港漁場整備部長（代理・吉塚靖浩漁港漁場整備部整備課上席漁港漁場専門官）、青森県農林水産部長（代理・柞木田善治水産局長）及び田中潤兒㈳全国漁港漁場協会会長が来賓挨拶をした。

木村常紀六ヶ所村海水漁協代表理事組合長を議長に選出して議事に入り、平成21年度事業報告・収支決算及び平成22年度事業計画・収支予算案等の各議案を満場一致で承認した。

また、原田邦治専務理事の辞任に伴う役員の補欠選任が行われ、新たに原口健二氏が事務理事に選任された。

愛知県漁港漁場協会

愛知県漁港漁場協会（会長・杉浦正健前衆議院議員）は、7月6日午前11時から名古屋市の「名古屋ガーデンパレス」において第9回通常総会を開催した。

金原久雄会長代行（蒲郡市長）の挨拶に続き、田中潤兒㈳全国漁港漁場協会会長が祝辞を述べた。

金原会長代行を議長に議事に入り、平成21年度事業報告、収支決算及び平成22年度事業計画、収支予算等の各議案が原案通り承認された。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、杉浦正健会長（前衆議院議員）が辞任し、後任には金原副会長が選任された。また、沢田壽一（南知多町長）、小川淨（愛知県漁連会長）の両副会長が再任され、新たに山本一義吉良町長が副会長に選任された。

和歌山県漁港漁場協会

和歌山県漁港漁場協会（会長・望月良男有田市長）は、7月9日午後1時から、和歌山市内のホテル「アバローム紀の国」において第63回通常総会を開催した。

望月会長の挨拶の後、津村賢介県土整備部漁港漁場課長、田中潤兒㈳全国漁港漁場協会会長が祝辞を述べた。

望月会長を議長に議事に入り、平成21年度会務報告及び決算関係、平成22年度事業計画及び収支予算案等の各議案が提案どおり承認された。

議事終了後、県より平成22年度の漁港漁場事業の概要説明があった。

香川県漁港協会

香川県漁港協会（会長・岡田好平土庄町長）は、7月2日午後1時30分から高松市の「ホテルニューフロンティア」において、第62回通常総会を開催した。

岡田会長の挨拶に続き、田中潤兒㈳全国漁港漁場協会会長、大畑善彦香川県農政水産部水産課副課長が祝辞を述べた。

森勝典内海町漁協代表理事組合長を議長に議事に入り、平成21年度事業報告及び収支決算、平成22年度事業計画及び収支予算を原案どおり承認した。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、岡田俊昭会長、財部能成副会長（対馬市長）がそれぞれ再選され、専務理事には溝口敏男氏が新たに選任された。

長崎県漁港漁場協会

㈳長崎県漁港漁場協会（会長・井上俊昭新上五島町長）は、6月16日午後1時30分から長崎市の「ホテルセントヘル長崎」において平成22年度第33回定期総会を開催した。

井上会長の挨拶の後、中村法道長崎県知事（代理・荒川敏久水産部次長）、末吉光徳長崎県議会議長、橋本牧水産庁漁港漁場整備部長、田中潤兒㈳全国漁港漁場協会会長が来賓祝辞を述べた。

議事に入り、平成21年度事業報告及び収支決算、平成22年度事業計画及び収支予算案などが原案どおり承認された。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、井上会長が再選された。

漁港往来　自6月1日 至6月30日

6月3日（木）
兵庫県農政環境部農林水産局漁港課建設係長松浦元治氏

6月4日（金）
全国漁港漁場協会田中会長は山口県へ出張

6月11日（金）
富山県漁港漁場協会書記中山泉氏

6月12日（土）
全国漁港漁場協会田中会長は岐阜県へ出張

6月16日（水）
全国漁港漁場協会田中会長は長崎県へ出張

6月18日（金）
全国漁港漁場協会田中会長は青森県へ出張

6月24日（木）
青森県漁港漁場協会専務理事原田邦治氏

6月25日（金）
高知県漁港漁場協会事務局長山本貞夫氏

6月28日（月）
青森県東青地方漁港漁場整備事務所長外城勉氏、青川田信英氏

6月30日（水）
全国漁港漁場協会田中会長、佐治総務部長、福田業務課長は茨城県へ出張

6月21日（月）
全国漁港漁場協会佐治総務部長、野口業務部長は沖縄県へ出張

6月29日（火）
長崎県漁港漁場協会専務理事兼務局長溝口敏男氏、同協会事務局次長

森県下北地方漁港漁場整備事務所長小田原伸廣氏、青森県三八地方漁港漁場整備事務所長葛西幸一氏、青森県西北地方漁港漁場整備事務所長内陸次氏

漁港漁場新技術研究会が総会

漁港漁場新技術研究会は、6月21日午後4時からコープビルにおいて第26回通常総会を開催した。

総会は、坂井淳会長の挨拶に続き、来賓として橋本牧水産庁漁港漁場整備部長および影山智将㈳漁港漁場漁村技術研究所理事長の挨拶があった。

議事は原案通り議決されたが、平成22年度においては、新規に「沖合養殖漁場開発研究部会」と高齢化の進む漁村を理想的な高齢社会となること

を目指す「漁村ユートピア研究部会」の設置が決定された。

総会後、㈱水産総合研究センター　水産工学研究所水産土木部水産基盤グループ長中山哲巖氏による「水産基盤整備技術の現状と未来への夢」と題する講演があった。

続いて、午後5時半から漁村水環境研究会との共催で懇親会が開催され、両団体の会員、来賓等多数の参加があり、本会田中潤兒会長の乾杯など大盛会裏に終了した。

漁村水環境研究会が総会

漁村水環境研究会は、6月21日午後4時よりコープビルにおいて第20期総会を開催した。総会は山田康夫会長の開会挨拶に引き続き、宇賀神義宣水産庁漁港漁場整備部計画課長及び影山智将㈱漁港漁場漁村技術研究所理事長の来賓挨拶があった。

議事は、事務局提案の平成21年度決算及び平成22年度予算案を審議し、原案どおり承認された。

また、今年度において漁業集落排水施設老朽化診断を㈱漁港漁場漁村技術研究所と共同事業として、新規に実施することが提案され了承された。